ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

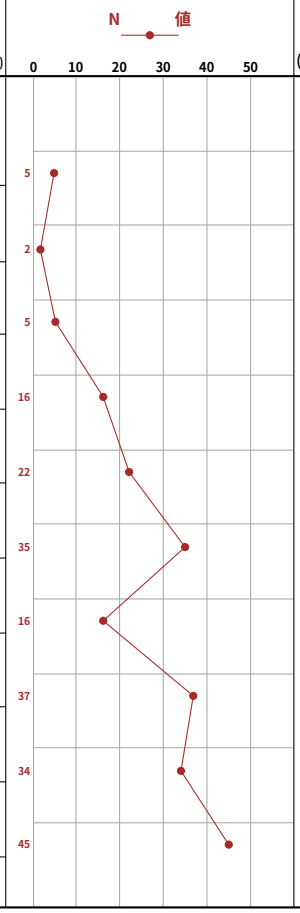
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.1(0369A070)	調査位置				北　緯	37 ° 04 ' 02.0000 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所		調査期間	2008-08-22 ～ 2008-08-25		東　経	139 ° 54 ' 57.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	623.56 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 15.00 °
総掘進長	10.45 m	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	619.86	3.70	3.70		礫混じり粘土 (CH-G)	暗褐		中位	上部0.1mまで黒褐色のシルト 0.1～0.4m間はφ50～150mm程度の礫主体(円礫含む) 0.4～0.7m間は粘土主体である 粘土は火山灰質を呈し,含水多くやや軟弱である 0.7m以深はφ5～50mm程度の礫混じり粘土でなり,所々に転石点在する		
	613.11	6.75	10.45		凝灰質泥岩 (Ms)	白灰		非常に硬い	岩の絶対的硬さは脆く軟質で,固結粘土(シルト)状を呈す 一部,砂質を帯び泥砂岩互層状を呈す 9.7m以深は,やや粗粒で凝灰岩の小礫が混じる		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	2/15	1/6	5/31	5
1.46					
2.15	1/17	1/16		2/33	2
2.48					
3.15	1	2/11	2/9	5/30	5
3.45					
4.15	4	6	6	16/30	16
4.45					
5.15	7	7	8	22/30	22
5.45					
6.15	11	12	12	35/30	35
6.45					
7.15	5	5	6	16/30	16
7.45					
8.15	11	14	12	37/30	37
8.45					
9.15	10	12	12	34/30	34
9.45					
10.15	12	15	18	45/30	45
10.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						08/22
						08/23
						08/25